

## 【図1】 演習のページ

### <シート1>

① ※子どもの状態像を書きます。演習のページには典型的なタイプをあげましたが、子どもの様子は個々に違います。目の前の子どもの状態像から考えましょう。

よくある状況      なぜそうなると思いますか？

② ☆ 様子を具体的なエピソードで書きます。

③ ※思いつくことから書いてみましょう。

その他考えられることを書いてみましょう

理由といえなくても、気になる情報があれば、書き出しておきましょう。

☆ 次のエピソードを書きます。

※理由を考えてみましょう。

その他考えられることを書いてみましょう

### <シート2>

クラスに同じような子どもがいますか？

④ どんな状態ですか？

クラスにいる気になる子に即して書きます。

⑤ なぜだと考えますか？

クラスにいる気になる子に即して書きます。

⑥ どんな手だてをしましたか？ 今後に生かせる手だては何ですか？

※その子どもにできる配慮点、学級経営に生かせる点

これまでに、実践したこと  
も書いてみましょう。  
これまでに有効だった手立  
ては、是非引き継いでいきま  
しょう。

クラス全体でできることを  
考えます。配慮を要する児  
童だけの個別配慮よりも、  
本人も周囲の児童も受け入  
れやすい場合があります。

※課題を感じる子どもだけでなく、クラスの他の子どもにも生かせる方法を考えられると、学級経営案に入れるなど、実行しやすくなります。

- ① 課題のある子どもの状態像を書く。
- ② 様子を具体的なエピソードで書く。気になる情報も書き出しておく。
- ③ 理由を考えて書く。
- ④ その子どもにできる配慮点を書く。
- ⑤ 学級経営に生かせる点を書く。
- ⑥ 手立てを書く。(これまでの手立て、今後に生かせる手立て等)

## 【図2】 現状からの分析と支援方法

現状・観察	原因	支援方法
教科書が読めない。 同じ現象の困難でも、その子どもによって要因は異なります。担任の観察が大切です。	・文字の習得が難しい。  ・練習不足。  ・眼球運動がぎこちなく、列を目で追うことが苦手。	→その子の習得ペースや覚えやすい方法を考える。  →家庭と協力して十分練習させる。  →1行ずつ見える枠を使う。 眼球運動の訓練をする。

※支援方法が見つかりにくい時は、校内での検討や教育相談等を活用します。

### <お知らせ> 秋・冬期障害児教育関連講座では・・・

#### □ 通常学級担任のための障害児教育講座Ⅱ（11月4日）

「発達障害のある児童生徒の保護者との教育相談」「WISC-Ⅲ検査法」

#### □ 障害児学級担任・通級指導教室担当教諭講座Ⅱ（12月26日）

「教育と医療」－広汎性発達障害等のある児童生徒の理解に向けて－

：京都教育大学 小谷裕実先生

「個別の指導計画を活用した指導の工夫・評価」、その他

#### □ 障害児指導法講座Ⅲ（11月18日：中丹養護学校）

「本校の教育」「養護学校における学習活動」「小学校における学習活動」